

エビデンス

コンセンサス

「調査研究の強化」により水質向上・生態系回復につなげるとともに、「民間団体等と連携」した取組を推進する。

課題

水質改善

- ・改善傾向であるが環境基準一部未達成
- ・湖内の貧酸素化

ヒシ大量繁茂

- ・景観の悪化
- ・貧酸素の原因
- ・水生植物の生育阻害等

浚渫

- ・埋塞への懸念
- ・船舶運航等への支障となるおそれ
- ・環境改善への期待

生態系保全

- ・漁獲量の減少
- ・湖内における魚類の生息・産卵場所の不足

継続する取組

水質測定

- ・湖内の溶存酸素量連続測定等

ヒシ除去

- ・水草刈取船によるヒシ除去年間510t

治水浚渫

- ・流入河川河口部における堆積土砂の除去

生態系保全

- ・水生動植物の管理・調査

改善に向けた新たな方向性

水質向上

ヒシ除去量の増加

利水・生態系を目的とした浚渫

生態系回復

目指す姿

- ・水質目標:COD(75%値)
5.5 → 4.7
(R3年度) (R8年度)

- ・5年後までにヒシ除去量を倍増
年間510t → 年間1,020t

- ・「諏訪湖」の存続
- ・浚渫による多面的効果(治水・利水・環境)
- ・2028年国民スポーツ大会の開催

- ・持続可能な漁業環境への回復(概ね15年後)
- ・科学的アプローチからの諏訪湖の見える化(生態系や湖底等)